外国特許トピックス

2018年3月
特許業務法人志賀国際特許事務所
（外国事務部　加藤基志）

平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
外国特許出願に関し、最近のトピックス等をお知らせいたします。

PCT　－　2017 年の PCT 出願件数統計

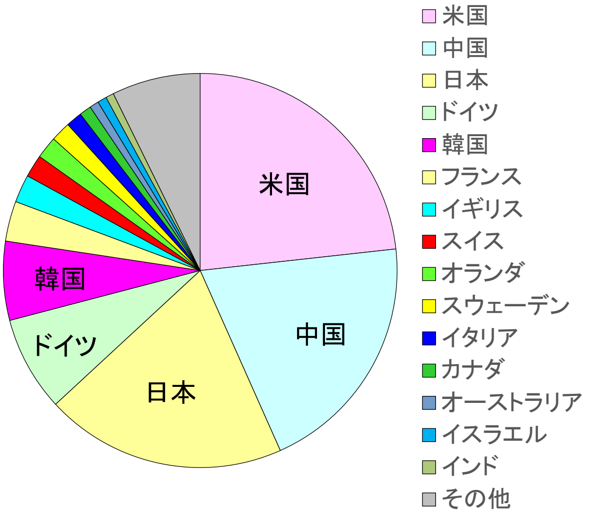
2017 年における PCT 出願件数の暫定統計が WIPO より公表されましたので、今回は PCT 出願件数の概況について紹介いたします。

1. 総出願件数

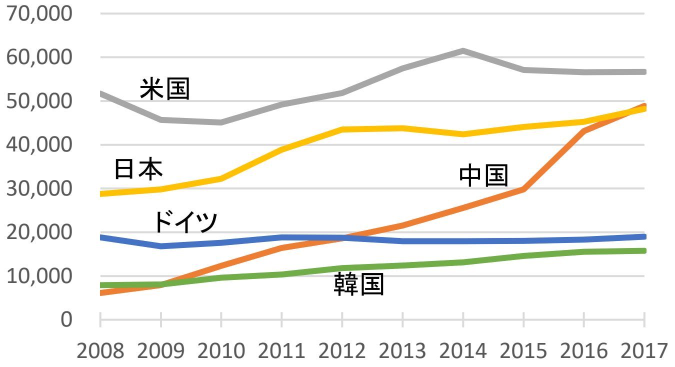
2017 年の PCT 出願総出願件数は、243,500 件（暫定）と発表されました。これは前年（確定数値 232,913 件）との比較で、件数にして 10,587 件、率にして約 4.5％の増加となりました。

2. 上位出願国（出願人居住国／15 ヶ国）

順位	国名	2017 年	前年比（%）	全体占有率
1	米国	56,624	+0.05%	23.25%
2	中国	48,882	+13.44%	20.07%
3	日本	48,208	+6.63%	19.80%
4	ドイツ	18,982	+3.69%	7.80%
5	韓国	15,763	+1.34%	6.47%
6	フランス	8,012	-2.41%	3.29%
7	英国	5,567	+1.18%	2.29%
8	スイス	4,491	+2.84%	1.84%
9	オランダ	4,431	-5.24%	1.82%
10	スウェーデン	3,981	+7.02%	1.63%
11	イタリア	3,212	-4.46%	1.32%
12	カナダ	2,382	-1.97%	0.98%
13	オーストラリア	1,850	-0.81%	0.76%
14	イスラエル	1,820	-0.98%	0.75%
15	インド	1,603	+4.91%	0.66%
－	その他	17,692	+5.55%	7.27%
	合計	243,500	+4.51%	100.00%



2017 年の出願上位 15 ヶ国は上記のとおりで前年と同じ顔ぶれとなりましたが、赤文字でも示しましたように中国が僅かの差で日本を抜き去り 2 位に躍り出ました。過去 10 年の PCT 出願件数について上位 5 ヶ国を並べてみますと、中国政府の特許取得に対する補助政策や中国企業の特許重視の動きが出願件数増加に影響し、2009 年に韓国を、2012 年にドイツを、そしてこのたび日本を追い越し、首位に立つためには特許協力条約（PCT）の第 I 章発効から 40 年間首位を守っている米国を残すのみとなりました。



WIPO によりますと、2016 年における全世界の特許出願件数約 3,127,900 件のうち中国特許庁出願受理件数は全体の約 43％（1,338,503 件／6 年連続トップ）で、その 90％（1,204,981 件）が内国人による出願となっていますが、これは 2 位の米国特許庁出願受理件数（605,571 件／内外国人合計）の 2 倍近い数値であり、また、前年比増加件数では世界全体（240,600 件）の約 98％が中国の増加件数（236,600 件）にあたるなど、驚異的な伸びを見せています。WIPO も、3 年以内に中国が米国をかわして PCT 出願件数トップになるのではないかとコメントしています。

3. 上位出願人

順位	出願人名	国名	2017 年	前年比(件)
1	Huawei Technologies Co. Ltd	中国	4,024	+332
2	ZTE Corporation	中国	2,965	-1,158
3	Intel Corporation	米国	2,637	+945
4	三菱電機株式会社	日本	2,521	+468
5	Qualcomm Incorporated	米国	2,163	-303
6	LG Electronics Inc.	韓国	1,945	+57
7	BOE Technology Group Co., Ltd	中国	1,818	+145
8	Samsung Electronics Co., Ltd	韓国	1,757	+85
9	ソニー株式会社	日本	1,735	+70
10	Telefonaktiebolaget LM Ericsson (Publ)	スウェーデン	1,564	-44

2017 年国際公開件数に基づく出願人別出願件数は、デジタル、コンピュータ技術系の企業で上位を占めています。2 位の ZTE は前年（2016 年）比で大幅減となりましたが、2016 年が 2015 年（2,155 件）との比較で 2 倍近く増えましたので、2017 年の減少幅は一時的なものかもしれません。

以上